

2023年3月27日

2050年度CO₂排出量実質ゼロを目指して 2023年度・2024年度の2年間で コープデリグループ全体で137台のEV車導入を計画

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋敏夫、会員生協:関東信越6生協)は、2050年度CO₂排出量実質ゼロを目指し、2023年度から2024年度の2年間で、コープデリグループ(6会員生協とコープデリ連合会、その子会社)全体でEV車137台(うち宅配トラック3台)の導入を進めます。車両の電動化とあわせて再生可能エネルギーの創出・利用を進めることで、化石燃料の使用量を削減し、車両燃料由来のCO₂排出量を削減します。



コープみらいで導入予定のEV車デザイン

【コープデリグループ2030年温室効果ガス削減目標達成へのロードマップ】

コープデリグループでは気候変動問題の解決とSDGs達成に向けて、2050年度CO₂排出量実質ゼロを目指し、中間目標として2030年温室効果ガス削減目標(2013年度比CO₂60%削減)を設定しました。重点的に取り組む施策として「電気使用量の削減」、「車両燃料の低炭素化」、「再生可能エネルギー創出・使用」を3つの柱と定め、コープデリグループ2030年温室効果ガス削減目標達成へのロードマップを策定しています。2023年度~2024年度の期間において、グループ全体で、電気使用量の削減に向けた機器の更新、EV車137台の導入、自家消費太陽光発電設備13施設の新設を進めます。ロードマップでは社会情勢や計画の進捗状況に応じ、2023年度から少なくとも2年ごとに是正を行い、目標達成を目指します。

【電動化を主とした車両燃料の低炭素化】の取り組みについて】

- ①2030年度までにグループ全体で車両の電動化等を進め、化石燃料の使用量を削減し、車両燃料由来のCO₂排出量を削減します。
- ②電動化が難しい大型車両・充電インフラが整わない地域で使用する車両等については、電気以外の次世代エネルギー(バイオ燃料・再エネ由来水素等の代替燃料)の動向を注視し、導入を視野に情報収集に努めます。

コープデリグループは SDGs 重点課題の達成に向けて、「未来へつなごう」のスローガンのもと、組合員・消費者、生産者・取引先、行政・他団体、役職員の連携を深め、SDGs の取り組みに関する様々な事業・活動を展開しています。コープデリグループは、車両燃料の低炭素化と再生可能エネルギーの創出・利用を進めることで、日本の温室効果ガス排出量削減に貢献し、地球温暖化を防止し、持続可能な社会の実現を目指します。



コープデリ生活協同組合連合会 概要

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
- 【理 事 長】 土屋 敏夫(つちや としお)
- 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープデリこいがた
- 【総事業高】 6,190 億円(会員生協事業高計) ※2021 年度
- 【組合員数】 529 万人(会員生協組合員計) ※2023 年 2 月 20 日現在
- 【ホームページ】 <https://www.coopnet.jp/>